

けものフレンズ 暗い過去

レモン酒と寒冷な概念

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

春休みの宿題で作文の宿題が出たので、練習ついでに僕が好きなアニメを使って小説を書いてみました。今後の勉強をしたいので、アドバイスを下さい。

2045年、例の異変が元で日本は本州以南の領土を失った。そして、本州以南の地域は多数の国家が乱立するようになった。

これは、そんな国の一つである太平洋連邦、通称ジャパリパークに住む一人の少女の物語である。

警告：かばんちゃんのカラが崩壊する可能性があります。

目次

プロローグと紹介

プロローグとこれまでの出来事 | 1

人物・組織・国家・陣営・兵器紹介 | 7

暗い過去 | 人間のリミッターは外れやすい

第一話 過去 | 15

第二話 日常 | 18

第三話 キュルル | 20

国粋主義者の反乱 | 死者の復讐

第四話 戒厳令 | 22

第五話 裏切り者 | 25

第六話 話し合い | 27

番外編

番外編 いじめっこを成敗します。(生きて帰すとは言っていない)

目まぐるしく変わる世界 | 赤き日の出は世界を照らす | 30

第七話 日太印三カ国同盟 | 33

第八話 友達 | 35

守りたかったひとがいた | 英霊のやり残したこと

第九話 英霊 | 38

第十話 ついてきた。 | 41

戦時体制 | 絶望の時へのカウントダウン

第十一話 二度目の過ち | 43

第十二話 緊張 | 46

戦争の始まり | それは恨み合い

第十三話	海戦	49
第十四話	アメリカ	51
第一五話	派遣	53
戦闘		
第十六話	ナミビア戦線	56
第十七話	エジプト戦線	59
第十八話	津軽戦線	62
史上最大の作戦　く歴史は繰り返すく		
第十九話	作戦	64
第二十話	陸奥湾	66
欧州情勢は複雑怪奇なり		
第二十一話	第二次スペイン内戦	70
予想外のこと		
第二十二話	デルタ作戦	72
第二十三話	統一	75
第二十四話	サーバル	78

プロローグと紹介 プロローグとこれまでの出来事

番組の途中ですが、ここで国民保護に関する情報をお伝えいたします。

攻撃情報。 攻撃情報。

セルリアンによる大規模攻撃の可能性がありません。

対象地域は西日本全域です。

新しい情報が入りました。防衛省は2時間前に日本国陸軍及び陸上自衛隊に対し、出動命令を出しました。

この放送は2045年（令和26年）12月8日に起きたジャパリ山噴火の際に放送されたものである。

この後には、日本国軍と自衛隊が出動するが、2週間ほどで札幌まで敗走した。

しかし、この3日後にアメリカ、イギリス、ドイツ、イタリア、ソ連、フランス、トルコ、バルト連合国による八カ国連合軍とサンドスターの影響でヒトの姿になった動物である「フレンズ」の協力により、どうか、北海道全域を奪還することに成功した。

しかし、本州以南ではサンドスターの影響で大規模な気候変動により、復興は不可能となり、多数の国家が乱立するようになった。

これはその80年後の物語である。

これまでの出来事

1980年7月19日 日本国がモスクワオリンピックに参加。
これにより、日本がソ連に接近。

1981年10月6日 日米安全保障条約が破棄される。

1982年2月25日 日本国が憲法を改正。自衛隊を軍に昇格。

1982年2月26日 日ソ安全保障条約が締結される。この時、
沖縄に基地は置かれず。

1983年3月1日 アメリカ空軍の戦闘機2機が日本の商船を
攻撃。日本国海軍が出動。

1983年3月6日 ソ連がアメリカに宣戦布告。第二次太平洋戦争。

1983年3月11日 日本国海軍が北極海でイギリス海軍と衝突。北極海海戦。日本国海軍が勝利。

1984年3月6日 東ドイツ軍が西ドイツに侵攻。ビスマルク作戦により、西ドイツは5日後に降伏。

1984年3月7日 ドイツ統一政府が樹立され、3日後にフランスへ侵攻。これも、電撃的侵攻により、6日後にフランスが降伏。

1984年3月10日 ドイツ統一政府軍がイギリス本土に上陸。

1999年2月6日 アメリカ合衆国が降伏。第二次太平洋戦争終戦。

2001年9月11日 アメリカで大規模テロが起きそうになるがソ連軍により阻止される。

2003年5月2日 イラクで民主化を求める無血クーデターが発生。フセイン政権崩壊。

2004年1月10日 日本国海軍が日本初のイージス艦『八咫鳥』を導入。

2005年2月20日 日本国がアリューシャン列島を得る。

2008年6月10日 日ソ海軍技術共有条約が締結される。

2011年3月11日 日本国陸軍でソ連とドイツの技術指導により、新型戦車が完成。

2011年5月8日 日本国海軍太平洋艦隊が結成される。

2018年1月31日 日本国陸軍が戦車を全て西洋様式に変更。

2019年1月2日 ソ連で民主化を求めるクーデター。1月革命の勃発。これにより、共産党員が軍によって逮捕される。

2019年2月6日 ロシア連邦が成立。日露安全保障条約が締結される。

2021年12月6日 バルト三国が独立。統合し、バルト連合国家が成立する。

2022年8月4日 ドイツ統一政府で民主化を求めるクーデターが発生。

2023年1月4日 日本国海軍がバルト海でバルト連合国海軍と合同軍事演習を行う。

2023年1月10日 エジプト海軍の艦艇がスエズ運河で武装勢力の攻撃を受ける。日本国海軍がスエズ運河に出動。

2023年1月13日 日印同盟締結。

2024年1月20日 中国海軍がインドの商船を攻撃する騒動が起きる。

2024年1月21日 日印臨時会議が開かれ、中国への宣戦布告が決まる。

2024年1月22日 日本国とインドが中国に宣戦布告。極東戦争。

2024年1月25日 日本国陸軍がロシア連邦領を通り、東北部へ侵攻。満州展開作戦。

2024年3月10日 インド陸軍が上海に上陸。それと同時に日本国陸軍が北京へ空挺降下。

2025年1月10日 中国が首都を重慶に移す。

2026年12月31日 日印連合軍が重慶を包囲。

2027年5月10日 重慶への攻勢計画・紅号作戦・が計画されるが、その3日前に中国が降伏したことで中止される。重慶条約により、中華民国が台湾から帰還。

2045年3月29日 八カ国連合軍及びフランスの参戦。

2045年4月2日 セルリアンが北海道から撤退。

2045年4月13日 青森県、秋田県、岩手県、福島県北部で構成された国家「津軽共和国」が成立。

2045年4月25日 福島県南部、新潟県で構成された国家「東北連邦」が成立。

2045年10月6日 東北連邦と津軽共和国の間で領土問題により、戦争が起きる。東北戦争。

2046年10月10日 東北連邦が降伏。会津若松条約により、福島県南部を津軽共和国に割譲。

2047年3月6日 関東地方全域を支配する共産主義国家「関東

人民共和国」が成立。

2048年1月10日 関東人民共和国が東北連邦に侵攻。東津安全保障条約により、津軽共和国が東北連邦側で参戦。

2048年11月6日 東北連邦と津軽共和国が降伏。関東人民共和国が国名を関東社会主義共和国と改め、連邦制を敷く。

2049年3月6日 日米安全保障条約の改正により、アリユーシヤン列島に米軍が撤退。

2051年3月13日 アメリカ政府が共産主義の拡大を恐れ、関東社会主義共和国連邦に宣戦布告。関東戦争。

2052年1月6日 中華人民共和国がアメリカ合衆国に宣戦布告。極東戦争。

2059年5月13日 中華人民共和国と関東社会主義共和国連邦が降伏。南京条約により、東北連邦と津軽共和国が独立。

両国は民主化され、中華民国、関東共和国として独立。

2085年3月10日 中華民国で内乱により、女真族の国家「満州国」が独立。

2086年1月2日 満州国首相が《南京大虐殺文書》が嘘であることを指摘。この時、満州国首相が旧日本軍が南京に撒いたビラをユネスコ協会に提出。これにより、南京大虐殺文書が世界遺産から外される。これにより、日本列島の国々が満州国に接近し、相互防衛条約が締結される。

2087年6月15日 満州国で帝政が敷かれ、元号が適用される。最初の元号は大同とされる。

2089年5月11日 石原優子（かばんちゃん）が誕生。

2090年1月13日 アメリカで国粋主義者が反乱を起こす。ロサンゼルス大反乱。

2090年2月1日 ロシア連邦で共産主義者が反乱を起こす。2年後に鎮圧される。

2090年2月13日 イギリスで国粋主義者が反乱を起こす。黒シヤツ事件の発生。

2091年1月6日 インド軍が中距離弾道ミサイルの開発に成

功。

2093年3月20日 トルコ革命が発生。この革命を阻止するため、アメリカ軍が介入するが、失敗に終わる。帝政が復活し、国号をオスマン第二帝国と改める。

2095年6月20日 石原優子がジャパリパーク内で失踪し、3時間後にサーバルと名乗るフレンズに保護される。

2100年3月2日 石原優子失踪事件が時効を迎え、捜査が打ち切られる。石原夫婦が無理心中をして死亡。

2101年10月10日 石原優子の両親が無理心中をしたことが知らされ、優子自身も自殺しようとするが、サーバルに止められ、未遂に終わる。

2102年12月15日 優子がフレンズ化し、サーバルからかばんちゃんと名付けられる。

2105年1月2日 フレンズ達が西日本全域を支配する国家「太平洋連邦」の建国を宣言。最初は軍事独裁政権が樹立されたが、クーデターにより民主化される。

2111年3月19日 北朝鮮で軍隊が蜂起。民主化され、統一される。朝鮮国の成立。

2112年1月6日 朝鮮国が太平洋連邦へ侵攻。

2112年1月10日 朝鮮国海軍と太平洋連邦海軍が対馬海峡で衝突。対馬海峡海戦。太平洋連邦海軍が勝利。

2112年3月18日 太平洋連邦軍が朝鮮本土上陸作戦・砂号

作戦・を成功させ、釜山と仁川に上陸。3週間ほどでソウルを包囲。

2113年8月14日 太平洋連邦空軍が爆撃機3000機で、ソウルを爆撃。セルリウム爆弾が80発ほど使用される。

2114年8月15日 太平洋連邦軍がソウルを占領する作戦・鵜号作戦・を計画するが、その前に朝鮮国が降伏する。鵜号作戦では毒ガスや生物兵器の無制限使用が行われる予定だった。

2115年3月6日 太平洋連邦が朝鮮国を併合。太平洋連邦の領土としてシナ準州となる。

2115年1月2日 太平洋連邦が相互防衛条約への参加を表明。

2117年7月13日 シナ準州が州に昇格。

2120年3月2日 デンマーク、スウェーデン、ノルウェー、フィンランドが統合し、スカンディナヴィア北方連邦が成立。ロシア連邦はこれを非難。

2120年3月10日 ロシア連邦がスカンディナヴィア北方連邦に宣戦布告。第二次北方戦争。

2121年12月13日 ロシア連邦とスカンディナヴィア北方連邦がアメリカ合衆国の仲介で講和。ロサンゼルス条約により、ロシア連邦はムルマンスクをスカンディナヴィア北方連邦に1年間割譲する。

2122年12月10日 ロシア連邦にムルマンスクが返還される。

人物・組織・国家・陣営・兵器紹介

- ・かばんちゃん

10歳のヒトのフレンズ。

本名は黒岩優子。

他のフレンズより優れたところがある。

野生解放したときには銃火器を使う。

趣味は読書。

- ・サーバル

サーバルキャットのフレンズ。

かばんちゃんと同居している。

昔、密猟者に親を殺され、一時期は『ソード・ダウンフオール』と呼ばれるテロ（札幌の地下鉄でマスタードガスやペストを大量に散布するもの。もし、実行されていたら、札幌で地下鉄サリン事件の50倍の死者が出ていた。）まで計画していた。

趣味は運動。

- ・アフリカオオコノハズク

アフリカオオコノハズクのフレンズ。

太平洋連邦軍の연구원。

最近はセルリウムを使った兵器を開発している。

趣味は読書。

- ・ワシミミズク

ワシミミズクのフレンズ。

太平洋連邦で図書館を運営している。

趣味は読書。

- ・ジャガー

ジャガーのフレンズ。

太平洋連邦陸軍の将校。

走るのは苦手だが、時速50キロぐらい出せる。

趣味は運動。

- ・スナネコ

スナネコのフレンズ。

太平洋連邦陸軍の兵士である。
非常に飽きっぽい。

軍での主な仕事は塹壕掘り。

- ・フエネツク

フエネツクのフレンズ。

太平洋連邦国家防衛庁の長官
いつも落ち着いている。

銃を持たせると怖い。

- ・キュルル

19歳のヒトのフレンズ。

本名はキリル・ケレンスキー。

祖父はスターリンググラードの戦いで戦死した。

太平洋連邦の反政府組織「フアスケスジャパリ」に所属している。

- ・マーゲイ

太平洋連邦のアイドルグループ「PPP」のマネージャーをしている。
る。

趣味はネットサーフィン。

よくマーだけ聞き取られず、ゲイさんと言われる。

- ・ツチノコ

ツチノコのフレンズ。

太平洋連邦軍に所属している。

コミュ障である。

- ・カラカル

カラカルのフレンズ。

フアスケスジャパリの一員ではあるが、組織の活動に対して疑問を
持ち、太平洋連邦国家防衛庁に情報を漏らしている。

- ・ヒグマ

大オーストリア合衆国陸軍の兵士で、東ギリシア州に住んでいる。

- ・キロネツクス

キロネツクスのフレンズ。

太平洋連邦海軍の海上保安隊の隊員である。
主な任務は海難救助だ。

・東條勇樹

2109年5月6日生まれ。

太平洋連邦空軍に所属している。

出身地は稚内。

・中島健（なかじまたけし）

日本国の外交官。

アニメオタクである。

第七話で登場。

・遠坂萌（とおざかもえ）

太平洋連邦の外交官。

ともえさんと呼ばれている。

キュルルと髪の色が似ている。

第七話で登場。

・黒岩未来（くろいわみらい）

2023年8月15日生まれ

陸上自衛隊に所属していた。

ミライさんと呼ばれていた。

2045年8月15日に北海道でセルリアンとの戦闘中に戦死した。

組織紹介

・フアスケスジャパリ

太平洋連邦の反政府組織。

軍事独裁政権の復活を目指している。

・太平洋連邦欧州軍

太平洋連邦軍のうち、欧州の安全保障のために作られた部隊。

本部はベオグラード。

・日本アフリカ方面軍

日本国軍のうち、アフリカの安全保障のために作られた部隊。

本部はシエラレオネ共和国の首都であるフリータウンに位置して

いる。

- ・太平洋連邦アフリカ方面軍
- 太平洋連邦軍のうち、アフリカの安全保障のために作られた部隊。本部はリベリアの首都であるモンロビアに位置している。
- ・ジャパリパーク防衛軍
- 太平洋連邦軍の特殊部隊。
- 主な任務は大陸間弾道ミサイルの迎撃や敵国への破壊工作。
- ツチノコがここに所属している。

国家紹介

- ・日本国

首都は札幌。

領土は北海道と北方領土。

- ・東北連邦

首都は会津若松市。

領土は東北地方南部。

同盟国は関東共和国、日本国、太平洋連邦。

大統領制を導入していて、現在の大統領は柳田幸男という名前だ。

- ・関東共和国

首都は東京。

領土は関東地方全域。

同盟国は東北連邦、日本国、太平洋連邦。

- ・太平洋連邦

首都はパークセントラル（大阪）。

領土は西日本全域。

同盟国は東北連邦、日本国、関東共和国。

フランスと人間が共存している唯一の国家である。

大統領制を導入していて、現在の大統領は森田勇人という名前だ。

ほとんどの電力を太陽光発電と水力発電とサンドスター発電で賄っている。

そのため、石油や石炭などの使用はしていない。

軍は志願制と推薦。

推薦の対象は高校生3年生以上の運動能力が高い者で、1年に一度行われる体育大会に軍隊が視察に来て、運動能力の高い者を推薦する。

もちろん、断ることもできる。

国旗はこれ。

・津軽共和国

首都は青森市。

領土は東北地方北部。

共和国と言っているが、軍事独裁政権が樹立されている。

サンドスターを使った大量破壊兵器を開発している。

・アメリカ合衆国

首都はワシントンD.C.。

領土はアメリカ本土とアラスカ。

同盟国は日本国、イギリス連邦（グレートブリテン及び北アイルランド連合王国）、ロシア連邦、フランス共和国、カナダ、イスラエル、ドイツ連邦共和国など。

現在の大統領はジョン・アーサーという名前だ。

・ロシア連邦

首都はモスクワ。

多数の民族共和国の集まりである。

同盟国は日本国、太平洋連邦、関東共和国、オスマン第二帝国、フランス共和国、東北連邦など。

・オスマン第二帝国

2028年に起きた政変によりエルドアン政権が倒れた後の2093年に帝政が復活した。

それまでは無政府状態であった。

日本国とは変わらず仲が良い。

同盟国は日本国、ムガル帝国。

- ・ムガル帝国

2033年に起きた政変により、帝政が復活した。

領土は南アジア全域。

政治体制はオーストリアⅡハンガリー帝国を真似ている。

通称・インド帝国連邦・

同盟国は日本国、オスマン第二帝国。

- ・大オーストリア合衆国

バルカン半島の国家。

政治体制は共和制。

同盟国は日本国。

- ・スカンデナヴィア北方連邦

2120年にスウェーデン、フィンランド、ノルウェー、デンマークが統合したことで成立した国家。

- ・ドイツ帝国

2114年にドイツ帝国の皇帝の家系であるホーエンツォレルン家がドイツに帰還したことで、成立した国家。

陣営紹介

- ・日本同盟

日本列島に位置する国家で構成された陣営。

- ・中東帝国同盟

オスマン第二帝国、ムガル帝国、サウジアラビアで構成された陣営。

- ・ハプスブルク・バルカン連合

イタリア共和国、セルビア共和国、大オーストリア合衆国、日本国で構成された陣営。

2115年に対ロシア包囲網として作られた。

- ・極東条約機構（FETO）

インドネシア共和国、オスマン第二帝国、ムガル帝国、太平洋連邦、関東共和国、東北連邦で構成された陣営。

2111年にイギリス連邦とルクセンブルクが加わった。（あんなら、極東の国家じゃないでしょ）

- ・北アフリカ・イスラーム連合

北アフリカの国々の結束を目的とした陣営。

加盟国はエジプト、リビア、アルジェリア、チュニジア、オスマン第二帝国。

宗主国はエジプト。

- 北欧同盟

スカンディナヴィア北方連邦とドイツ帝国、ポーランド共和国により構成された陣営。

- イベリア同盟

スペインとポルトガルの間で締結された同盟。

- 日米英三国協定

日本国、アメリカ合衆国、イギリス連邦によって構成された陣営。

兵器紹介

- F-113

太平洋連邦空軍が開発した戦闘機。

詳細は第八話にある。

- F-28

太平洋連邦海軍の第二世代型ジェット戦闘機。

亜光速エンジン（通称ハイパーパイロット）がついている。

- B-73

日本国空軍がB-29を改造して作ったステルス爆撃機。

レシプロ機な所は変わっていないので、制空権を完全に取る必要がある。

- ハプスブルク級ミサイル巡洋艦

大オーストリア合衆国海軍のミサイル巡洋艦。

大きさは大和ぐらい。

- セラード

太平洋連邦海軍の強襲揚陸艦。

- ケマル級ミサイル巡洋艦

オスマン第二帝国海軍のミサイル巡洋艦。

- ムスタファ

オスマン第二帝国海軍の強襲揚陸艦。

- ヤガー級ミサイル巡洋艦
太平洋連邦海軍のミサイル巡洋艦。
大きさは大和の2倍。

- ゼロ
太平洋連邦軍のジェット戦闘機。
零戦を改良して出来た。

暗い過去　く人間のリミッターは外れやすいく 第一話　過去

2125年3月2日10時10分15秒

太平洋連邦サバナ州

かばんちゃん視点

バババババババツ！

バキューン！

辺りには銃声が鳴り響いている。

僕は後ろずさった。

グチャ・・・

何かを踏んだようだ。

死体を踏んだ。

「ジューコフさん・・・」

僕は泣いた。

涙が枯れるくらい泣いた。

何でだろう。知らない人なのに。

「かばんちゃん！」

「はあ！はあはあ！」

僕はサーバルの声で飛び起きた。

そんな僕の膝に何かが滴った。

（涙？どうして、泣いてるんだろう。）

「かばんちゃん大丈夫？すごいなされてたけど。」

「大丈夫だよ。」

僕は涙を拭い、ベッドから出た。

（あの夢で見た人・・・どこかで見た覚えがある。）

図書館なら情報があるかもしれない。行ってみるか。

どうせなら、サーバルちゃんも誘おう。

「サーバルちゃん、図書館に行かない？」

「そうだね。じゃあ、行ってみよう！」

2125年3月2日10時20分35秒

太平洋連邦サバンナ州

かぼんちゃん視点

10分くらいかかって、図書館に着いた。

「あつ、サーバーでしたか。今日は何の本を借りに来たのですか？」
いつも通り、アフリカオオコノハズクさんが出迎えてくれた。

僕は事前に描いておいた似顔絵を彼女に見せた。

「この人ですか。この人の資料ならこつちにありますよ。」

そういうと彼女はある書類を持ってきた。

その表紙には「陸上自衛官 黒岩未来」フラッシュメモリ在中
と書いてある。

僕はあるUSBメモリーを取り出し、パソコンに接続した。

「デバイスが接続されました。再生するファイル名を入力してください。」

No-5639 (Kuroiwa-Mirai).mp3

No-5640 (Kuroiwa-Mirai).pdf

No-5641 (Kuroiwa-Mirai).mp4

沢山のファイルが入っている。

僕はそのなかのNo-5639 (Kuroiwa-Mirai).mp3を開くことにした。

女の人の声が聞こえてきた。

「皆さん。私は愚かな間違いを犯しました。私と同じ事を絶対に繰り返さないで下さい。どうか、これから生まれてくる人が私と同じような過ちをしないように。そして、その過ちが原因で子孫が不幸にならないように、この事を長く伝えて下さい。」

30秒程度の音声ファイルだった。

「サーバーちゃん、黒岩未来さんという人を知ってる？」

「うん。昔の友達だったんだ・・・」

彼女の目に涙が浮かんだ。

そのまま、彼女は座り込み、泣き出した。

「まさか、あんなことになってたなんて・・・」

「ねえ、彼女はどうなったの？」

「80年前の例の異変の時に戦死したんだ。」

「ねえ、もしかしてあの夢って……」

「聞かないで。」

そう言うと彼女は僕のかばんから錠剤の入った袋を取り出した。

袋にはベンゾジアゼピン系抗不安薬と書かれている。

彼女はそのなかから一錠だけ取り出すと飲んだ。

「ふう……」

落ち着いたようだ。

「サーバルちゃん、とにかく一旦帰ろう。」

「分かった。」

僕はUSBメモリーを元に戻し、図書館を後にした。

第二話 日常

2125年3月2日10時30分

太平洋連邦サバンナ州

かばんちゃん視点

僕は図書館での出来事について調べるため、家のパソコンを開いた。

僕はネット小説を読むのが好きで、サンタンドール・ミンミーなどのネット小説サイトによく通っている。

サーバルちゃんもよくこのサイトを利用していらっしゃるらしく、サーバルちゃんの作品である・狩りごっこ・がとても面白い。

僕はブラウザを開くとすぐにサーバルちゃんのことについて調べた。

・日本国陸軍公式広報ビデオ　　〜我は帝国陸軍の意思を継ぐ者なり〜

この動画なら何かわかるはずだ。

少々控えめな抜刀隊が流れた後に、色々な紹介が始まった。

「んっ？」

気になる事があつたので、動画を停止した。

大きな耳に黄色い髪・・・

間違いない。サーバルちゃんだ。

しかし、どこかがおかしい。黒と緑の迷彩服を着ている。

本当に彼女なのだろうか。

そんな不安はいつも通りの挨拶で吹き飛んだ。

「やあー私はサーバルキャットのサーバルだよ。よろしくね。」

明らかに彼女の声だった。

「まず、私の仕事について説明するね。私は主に兵舎の食堂で仕事をしているよ。でも、野菜を細かく切りすぎちゃうんだ。」

彼女は日本国陸軍の兵士だったのか。

となると、彼女と黒岩未来さんの関係が分かるかもしれない。

「では、黒岩未来さん。お願いします。」

あつ、来た！

皆さんこんにちは。私は黒岩未来と言います。2023年に起きた第二次朝鮮戦争では、日本国陸軍の兵士として、国連軍に参戦しました。私は主に火器の整備をしています。」

とすると同じ部隊に所属しているということか。

お腹がすいたな。というか、もうお昼か。

おにぎりでも作ろう。

「サーバルちゃん。もうそろそろお昼だし、おにぎりでも食べない？」

「そうだね。」

僕は台所に置いてあったおにぎりを持ってきた。

サーバルが好きな鮭のおにぎりだ。

やっぱり、フレンズになってもネコ科の性質は変わらないのかな。

「サーバルちゃん。今日は鮭のおにぎりだよ。」

「えっ、やったー！」

サーバルが異常な速さで食べ終わった。

僕はまだ食べている。

あまり、魚介類は好きじゃない。

少し残してしまったが、残りはサーバルちゃんが食べてくれた。

「さてと、じゃあ、家に居てばかりじゃあつまらないから、どこかに出かけよう。」

「そうだね。」

僕達は隣の町のショッピングモールに行くことにした。

20分後、ショッピングモールに着いた。

僕は筆箱と鉛筆と消しゴムを買った。

サーバルちゃんは、ツナ缶を五十個ぐらい買って来た。

「サーバルちゃん。家にはもう15年分ぐらいツナ缶があるよ。」

「えっ？」

「サーバルちゃん。またやってしまったねえ。」

第三話 キュルル

2125年3月3日

太平洋連邦臨海州 州都ジャパリシー

キュルル視点

僕は太平洋連邦臨海州の州都ジャパリシーに来た。

しばらく歩いて、石碑を見つけた。

石碑には・キリル・ジューコフ R・I・P・と書かれている。

僕の兄の名前だ。

僕の兄はロシア連邦陸軍の兵士として、80年前に国連軍に参戦してセルリアンとの戦闘中に戦死した。

セルリアンは元はアメリカ軍が作った物だ。だから、責任はアメリカやその同盟国に償わせなければならぬ。

人間のリミッターというのは、案外外れやすい。

戦争、いじめ、政情不安・

外れる原因はたくさんある。

そして、外れてしまった人間は何をするかわからない。

だが、一つだけ分かることがある。

それは、外れてしまった人間は必ず悪い方向に行くことだ。

アメリカ政府、君は僕のリミッターを外したんだよ。

どうなるかも知らずに。

僕はそんな事を考えながら右手を斜め上につき出した。

(フアスケスジャパリ万歳。)

2125年3月10日

アメリカ合衆国 ハワイ

ヒツカム空軍基地

アメリカ軍の兵士視点

オレは基地の中を警備の為に歩き回っていた。

ドカーン！

突如、戦闘機が爆発した。

すると、その煙の中から、青い生物が出てきた。

セルリアンだ。

オレは小銃を構え、セルリアンに向けて撃った。
5時間後、セルリアンは全滅したが、基地はめちやくちやだった。
んっ？セルリアンの残骸の様子がおかしい。

セルリアンの残骸が一つにまとまり、やがて人の形を作り出し、話し始めた。

「アメリカ合衆国政府に告ぐ。我々は太平洋連邦の反政府組織「ファースクスジャパリ」である。貴国は80年前にセルリアンを作り出すという大罪を犯した。貴国にはそれに見合うだけの罰を受けてもらわなければならぬ。」

それだけ言うと、形が崩れ始め、やがてただの砂となった。

2125年3月11日

太平洋連邦サバンナ州

かばんちゃん視点

はあ、やつぱりサバンナの朝は暑いな。

まあ、いいや。テレビでも見るか。

「かばんちゃん！」

サーバルちゃんの声が聞こえた。何かあったのだろうか。

下に降りると、サーバルちゃんがテレビを見て真っ青になっていた。

テレビでは、臨時ニュースがやっていた。

お伝えしています通り、アメリカ合衆国ハワイ州ホノルルのヒッカム空軍基地がセルリアンの攻撃を受けました。

これを受け、太平洋連邦政府はアメリカ合衆国の支援のため、太平洋連邦軍の一部部隊に出動命令を出しました。

今回の一連の騒動について、政府は軍事独裁政権時代の軍人によって組織された反政府組織・ファースクスジャパリ・による犯行を視野に入れると公表しました。

国粹主義者の反乱　　～死者の復讐～

第四話　戒厳令

2125年3月12日

太平洋連邦サバナ州

サーバル視点

「うーん、もう朝か。」

私は、ベッドから出ようとした。

ピーピーピー！

突然、ホロ・タブレット（スマートフォンのようなもの）が鳴った。

このタイプの着信音は緊急事態にしか鳴らないものだ。

（例えば、太平洋連邦と親しい間柄にある国家または、太平洋連邦が第三国の攻撃を受け、国家の存立や国民の生命が脅かされる事態となり、軍隊の出動が必要な場合）

私はおそるおそる、メールを開いた。

件名：政府からの発表

本文：太平洋連邦政府からの発表です。

2125年（太平洋歴25年）3月12日5時13分、太平洋連邦キョウシュウ州に於いて、サンドスターロウの濃度が許容値の5マイクローシールベルトを超過しました。

キョウシュウ州にお住まいの方は最寄りの避難所に避難してください。

太平洋連邦政府は戒厳法第141条241番649号の規定に従い、一時的に一部の政治的権限を軍に譲りました。

このメールの内容は考えなくても分かった。

戒厳令の発令だ。

私がかばんちゃんを起こし、メールを見せることにした。

「かばんちゃん！」

「うーん、どうしたの？」

「ちよつと、これを見て。」

「あー、戒厳令ねー。てっ、たうえ!？」

「とにかく、情報を集めよう。」

「たうえ」と「食べないでくださいーい!」がかばんちゃんの名言になってるんだよなあ（笑い）

そんなことを思いながら、私はノートパソコンを開いた。

しかし、2年以上使っていないため、更新と再起動の嵐だった。

仕方なく、私はかばんちゃんのパソコンを見ることにした。

かばんちゃんのパソコンは北朝鮮製だ。

このあと、どうなるか察しはつくだろう。

ピーー!

即、ブルースクリーンが表示された。（笑）

「あー、もう! この、おんぼろ!!（怒）」

でも、叩いたら直った。

しかし、ネットワークに繋げようとしたら、またブルースクリーンになった。

「繋がらないなあ、てっ、ゴラア!! なんで、ブルースクリーンが出てくんねん。ファツ〇〇〇」

（かばんちゃん、キャラが崩壊してるよ。かばんが野蠻になった。（笑い）それと、危ない事を言った気がした。）

そんなでもって、また叩いたら、今度は煙が出てきた。

私はすぐに消防を呼び、火は消えた。

火事の原因を正直に話したら、消防士さんが全員大爆笑してたよ。

そして、1時間後

ピーン!

私のノートパソコンの更新が終わったみたいだ。

私のは、日本製のノートパソコンだから、大丈夫だろう。

予想通り、ネットワークにも繋がった。

私はすぐに今回の戒厳令について調べた。

・ 太平洋連邦国家防衛庁 2125年3月12日の戒厳令の詳細について

これなら、情報が得られるだろう。

調べた結果、以下のような事が分かった。

- 戒厳令の原因は国内でのセルリアンと太平洋連邦軍の戦闘が予想され、最悪の場合、都市での戦闘に発展する可能性があること。
- 太平洋連邦の首都パークセントラルを中心に、全ての都市に軍隊が配備されること。

第五話 裏切り者

2125年3月13日

太平洋連邦キョウシユウ州

カラカル視点

「キュルル、いや、キリル・ケレンスキー。もうこのようなことはやめた方がいい。あんたも分かっているだろう。国粋主義の国家が最後にはどうなるかを。ある国では不景気による国民の不安を口実にファシスト政党が勢力を伸ばした。しかし、最後には戦争に負けて、イデオロギーの違う二つの大国に分割され、同じ民族の間で要らない対立を招いた。この国もできた頃は太平洋ナショナリズム党というファシスト政党が政権を握っていたが、最後にはクーデター（2110年1月1日に起きたクーデター。通称・正月革命・太平洋連邦軍30師団が一斉に蜂起を起こし、太平洋ナショナリズム党の党首であるフランシエル・エリックを暗殺したというもの。）で崩壊した。人は歴史を繰り返す。あんたも同じ道を辿る事になるぞ。」

そんなことをキュルルに対して、何度も警告してきた。

しかし、今回も答えは同じだった。

「五月蠅い!! この兵器さえ完成すれば、ファスセスジャパリの目標は達成出来るんだ!」

「そう……。じゃあ、あんたとは考え方が合わなそうね。私はファスセスジャパリを抜けるわ。さようなら。」

そういつて、私はファスセスジャパリのアジトを出た。

これから、太平洋連邦軍国家防衛庁の長官であるフェネックに会いに行くのだ。

2125年3月13日

太平洋連邦キョウシユウ州

国家防衛庁

フェネック視点

私は仕事がある程度終わったので、コーヒーを飲んでいた。といっても、コンビニに売っているような缶コーヒーだが。

そんな時、私の部屋に一人の兵士が入ってきた。

「失礼しますなのだ！ カラカルと名乗るフレンズから連絡が来ているのだ。」

アライさんだ。

「あつ、アライさんじゃん。じゃあ、ちよつと私にかわってくれませんか。」

「了解なのだ！ どうぞなのだ。」

私はアライさんから携帯電話を受け取り、アライさんを外に出した。

「はい。お電話代わりました。フエネックです。」

「カラカルです。」

「んっ、ちよつとお待ちください。」

カラカル・・・。その名前に聞き覚えがある。

太平洋連邦軍の裏切り者だ。

「カラカルさんですね。カラカルさんについて調べたところ、特記事項がありました。明日の午後、キョウシユウ州の州都ジャパリシーのセレードホテルという場所でお会いしましょう。」

そう言って私は、携帯電話を元の場所に戻した。

ちっ、裏切り者め。

裏切り者はどうなるか思い知らせてやる。

第六話 話し合い

2125年3月14日

太平洋連邦キョウシユウ州

州都ジャパリシー

フエネットク視点

ここはジャパリシー。

キョウシユウ州の州都で昔の日本の首都であつた東京ぐらい栄えていて、観光客も沢山来る。

ここで最も有名なのは、軍事独裁政権時代の強制収容所で、・ジャパリパークのアウシユビッツ・と呼ばれているジャパリシー強制収容所だ。

しかし、私は観光に来たわけではない。

カラカルと話し合いに来たのだ。

「失礼します。」

「そこに座ってください。」

そうやって、私は彼女を部屋に通した。

まず、私から話し始めた。

「よく戻って来たねー。カラカル、いや、今はフランシエル・カラカルと名乗っていたねえ。この裏切り者め。」

「ちよつと待つてください。私はただ・・・」

「黙れ!!」

私は彼女の頭に何かを突きつけた。

突きつけた物の正体がわかり、すぐに納めた。

「ははっ、だが条件をクリアすれば許すこともできる。軍事学校に入り直し、成績優秀で卒業しろ。」

「分かりました。条件を飲みます。」

2125年3月14日

太平洋連邦サバンナ州

サーバル視点

私は、かばんちゃんと一緒に買い出しのために近くのスーパーに行

くことにした。

もちろん、かばんちゃんも私も運転免許を持っていないので、自転車で行くことにした。

ちなみに私が乗っている自転車は2008年頃まで生産されていたママチャリだ。

かばんちゃんからは良く「似合ってるね」と言われる。

そんな時、道に何かが落ちていることに気づいた。

「んっ、ちよつと止まって。」

そういつて、私は自転車から降りて、落ちているものに近づいた。子どもだ。

しかも、生後5ヶ月ぐらいだろう。

手にセルリアンに襲われた時にできる青色のあざが出来ている。

このままだと、この子が死んでしまう。

そう思った私は子どもを背負い、かばんちゃんに事情を話してから、家に戻った。

10分後・

私は家で保護した子どもをベッドに寝かせ、治療を行った。

まずはフレンズ化させる。

私は水にサンドスターを溶かし、子どもに飲ませた。

そうすると、子どもの身体が発光し、かばんちゃんが縮んだような姿になった。

怪我也治っているようだ。

後は目を覚ますのを待つだけだ。

しかし、怖がられて逃げられても困るので、サンドスターの力を利用して、生命維持に必要な臓器と目や声帯、耳の機能以外の活動を全て私に依存するようにした。

脳の活動も最小限にしてあるため、あんまり難しいことは考えられないようになっていた。

かなりきついだろうが、少し我慢してもらおう。

「ただいまー。」

かばんちゃんが帰ってきたようだ。

「あつ、そういえば、これも買ってきたよ。」

そういつて、渡されたのは粉ミルクであった。

「かばんちゃん、気持ちは嬉しいんだけど、フレンズ化させたからもう
いらないよ。」

番外編

番外編 いじめっこを成敗します。(生きて帰すとは言っていない)

2125年3月15日

太平洋連邦セトナイ州アイヒメ地域

セウチウミ国立公園

オグロプリーリードッグ視点

私は散歩のために、セウチウミ国立公園に出掛けた。

そんな中、私は悪いものを見つけた。

いじめっこだ。

(ははっ、こりゃあ、ぐっ挨拶をしないとイケないねえ。)

そう思いながら、私はいじめっこに近づき、頭をホールドし、強烈なぐ挨拶を1時間程度した。

周りで、70人程度卒倒したけど気にしない気にしない(笑い)

1時間後・

私とその子を解放した頃には、息もしていなかった。

その後、その子は病院で息を引き取った。享年10歳。非常に短い人生であった。死因は精神的な衝撃(驚かされたりすること)を受けたことによるショック死だったらしい。

2125年3月16日

太平洋連邦サバンナ州

サーバル視点

私は散歩のために、市内の公園を歩いていた。

そんな中、いやなものを見てしまった。

いじめっこだ。

(じゃあ、久しぶりに本気の狩りといきますか。)

私は野生解放をして、その子に近づき、追いかけ始めた。

「殺りごっこだね！ 負けないんだから！」

(久しぶりのごちそう・・・)

そんな腹黒いことを考えながら、追いかけていた。

「あれ？ 隠れちゃった。」

ガサツ！

「そっこだー！」

私はそのまま飛びかかり、爪で切り裂いた。

「この死体は家に死体を家具にする生物(生きた居間)がすみついてるから、そいつにでもあげとくか。」

そういつて、私は野生解放を納め、死体を抱えて公園から出た。

生きた居間にその死体をあげたら、ロボット掃除機になった。

2125年3月17日

太平洋連邦サバンナ州

かばんちゃん視点

僕は散歩のために、市内の公園を歩いていた。

そんな中、僕はいやなものを見てしまった。

いじめっこだ。

(ははっ、こりゃあ、お仕置きをしないとだねえ。)

僕は野生解放をして、その子に近づいた。

その後、その子の頭にショットガンを突きつけた。

「なあ、そろそろやめたらどうだい？」

「ひいつ、すいませんでしたあー！」

そういつて逃げていった。

ショットガンの弾はダムダム弾にしてあるため、実際に撃っていたら、悲惨なことになっていただろう。

ダムダム弾は残虐であるという理由から3世紀ぐらい昔に行われたハーグ平和会議で使用が禁じられた武器だ。

2125年3月18日

太平洋連邦サバク州

ツチノコ視点

私はPPPのライブを見に行くため、となりのシンリン州の州都フォレストタウンまで自転車で走っていた。

気分アゲアゲな中、僕はいやなものを見てしまった。

いじめっこだ。

(こりやあ、いい彫刻の作品が出来そうだ。)
「ねえ。」

振り向いた。今だ。

私は目を白く光らせた。

すると、その子はみるみる内に石化した。
意外と重いなあ。

目まぐるしく変わる世界　　く赤き日の出は世界を照らすく

第七話　日太印三カ国同盟

2125年3月23日

ムガル帝国　デリー

遠坂萌視点

「これでいいですね？　中島大使。」

「はい、我が国はこの内容でよいと思います。」

「では、これでいいですね？　アサーヴ大使。」

「はい、我が国も了承します。」

私はムガル帝国の大使と日本国の大使に握手をした。

その後、色々話をした。

中島大使：しかし、同じ人種なのに外国人というのはどうも慣れませんね。

遠坂大使：まあ、日本は分断国家になってしまいましたからね。

アサーヴ大使：ところで、日本はなぜ分断国家になってしまったのですか。

中島大使：80年前の事を覚えていますか。

アサーヴ大使：はい。確か、セルリアンの出現が原因で世界の3分の一が壊滅した事件ですか。

中島大使：実は、その時に日本は分断国家になってしまったのです。そして、遠坂大使の祖父もその時に本州へ移り住んだんですよ。

遠坂大使：で、その後に太平洋連邦が建国され、わたくしの祖父は太平洋連邦の国籍をとったのですか。

中島大使：そんな感じですよ。では、調印をしましょう。

アサーヴ大使と遠坂大使は書類にサインをし、再び堅い握手をした。

この条約はセルリアンが出現した際の相互防衛を目的にしている。条約の内容は以下の通りだ。

1. 日本国政府はムガル帝国及び太平洋連邦が陸軍・海軍・空軍の部隊を国内に置くことを承認する。
 2. ムガル帝国政府は日本国および太平洋連邦が陸軍・海軍・空軍の部隊を国内に置くことを承認する。
 3. 太平洋連邦政府は日本国及びムガル帝国が陸軍・海軍・空軍の部隊を国内に置くことを承認する。
 4. 日本国、太平洋連邦、ムガル帝国の三カ国は一ヶ月に一度、軍の将校が集まり、会議を行う。
- その頃、日本国では・
- 日本では、現在の総理大臣である、武藤宏によって以下のような放送が行われた。

「我が国は太平洋連邦、ムガル帝国との軍事同盟の締結に成功しました。この軍事同盟の締結によりアジア諸国の安全保障体制に大きな改革をもたらすこととなるでしょう。これに対して、天皇陛下は「我が国の一生の夢であったアジア諸国の共存共栄に向け、また大きな一歩を踏み出したと言える。」と仰っています。」

日本の新聞では、「日太印三カ国同盟締結。友好の握手は実に堅く」という見出しで発表された。

太平洋連邦では・・・

太平洋連邦の国営放送である太平洋放送で、以下のような放送が行われた。

「我が国は日本国及びムガル帝国との軍事同盟の締結に成功しました。この条約の内容は、アジア諸国の安全保障体制に大きな改革をもたらすことになるでしょう。」

第八話 友達

2125年3月26日

太平洋連邦サバンナ州

かばんちゃん視点

「ふぁー。朝か。」

僕は、眠たい目をこすり、ベッドから出た。

そんな僕のところにはラッキービーストがトコトコ歩いてきた。

「カバン、トウジョウユウキト名乗ル人カラメールガキテイルヨ。」

「僕のパソコンに送つといて。」

「IPV4アドレスガワカラナイヨ。」

「2433・6582・3655だよ。」

「ワカッタヨ。送信完了。」

パソコンに送られてきたメールは僕の幼なじみから送られてきたものだった。

件名：今度、一緒にお茶しませんか。

本文：僕は東條勇樹です。

今は太平洋連邦陸軍第六歩兵大隊に所属しています。

今度、近くのカフェでケーキでも食べながら、話をしませんか。

相変わらず、他人行儀だなあ。

彼は、2104年に北海道札幌工業高等学校を卒業し、その後、太平洋連邦陸軍幹部学校へ進学。3年後に成績優秀で卒業し、現在は太平洋連邦陸軍の中でもエリート中のエリートと言われる部隊である太平洋連邦陸軍第六歩兵大隊の総司令官を務めている。

さらに、2111年に起きた第二次朝鮮戦争では、前線で部隊を指揮し、2カ月で戦争を終わらせた。今じゃ、そこら辺のミリオタに「東條勇樹は何をしたのか。」と聞けば話が止まらなくなるというぐらい有名だ。

実は彼は、小学生の頃から成績優秀でモテモテだった。

同じクラスだったから、僕にちよっかいを出す奴はまずいなかった。

簡単にまとめると・とにかくやべえ奴・ということだ。
返信

件名：じゃあ、スターカフェで待ち合わせよう。

本文：明日、時間があったら、ジャパリカフェで待ち合わせましよう。

2125年3月27日

太平洋連邦サバンナ州キナイ地域ケイト市

ジャパリカフェ

かばんちゃん視点

「こんにちはー。」

「あー→、ようこそお→ジャパリカフェへ←。」

彼女はジャパリカフェの店員でアルパカのフレンズだ。
相変わらず、訛りがひどい。

まあ、それが彼女の個性なんだけど。

「ご注文は→」

「ハニーミルクを頼むよ。」

「ハニーミルクを一点→、温めますか→」

「あー、普通のでいいよ。あと、この子の分も。」

今日は前にサーバルちゃんが保護した子供を連れてきた。

「了解しま←したあ→」

ハニーミルクはこのカフェで人気のメニューだ。

といつても、牛乳に蜂蜜を入れただけだが。

それにしても、牛乳はどこから取ってくるのだろうか。いや、知らない方がいいか。

蜂蜜はスズメバチのフレンズが作っているらしい。

「やあ。」

ちょうど、ゆうさん（東條勇樹の愛称）も来たみたいだ。

「おつ、かばんちゃんじゃないか。元気にしてたか？」

「まあ、元気にはしてたけど、子どもを保護してから大変だよ。」

「名前は何にしたんだ。」

「黒岩優香にしたよ。で、そっちは仕事はどうなってるの?」

「何か、最近、空軍の第八航空大隊に転属されて、F-113とかいう名前の戦闘機に乗ってるよ。」

「ねーねー、ダイハチコウクウダイタイって何?」

子供が口を話に入ってきた。

「まあ、怪獣をやっつける正義のヒーローの集まりさ。」

でも、彼は普通に対応している。

「すっごーい!」

この子はいつからサーバルになったんだ。(笑い)

子は親に似るとはこういうことか。

サーバルちゃんは産みの親じゃないけどね。

いや、でも短時間で似すぎだよ。

守りたかったひとがいた　　く英霊のやり残したこと

第九話　英霊

2125年4月13日

関東共和国　東京

石原一博視点

俺はお墓参りのため、イエイヌのフレンズと一緒に靖国神社に来た。

なぜかって？

俺の曾祖父は軍人だったからさ。

「一博さん、あなたの曾祖父はどんな人だったんですか。」

「うーん、大好きな軍人だったよ。」

俺は本堂の前で手を合わせた。

すると、何か気配を感じた。

「おつ、一博じゃないか。元気にしてたか。ところで、その柴犬のフレンズは誰だ。」

間違いない。曾祖父の声だ。

「僕の友達です。クーと言います。」

「そうか。最近はどうなことをしている？」

「えーと、日本国陸軍の兵士をしています。」

「そうか。流石、俺のひ孫だ。軍人は非常に誇らしい仕事だ。失敗のないようにな。」

「はい。ありがとうございました。」

俺は目を開けた。

振り返るとすぐにセルリアンがいた。

（あんたの祖先って軍人だったか？）

と、思っている間にセルリアンが襲いかかってきた。

バキューン！

突如、銃声とともにセルリアンは崩れ去った。

そこには、カーキ色の軍服を着た男性が立っていた。

彼の身体からはサンドスターが出ていた。

「はあ、やっと目覚めたと思ったら、最近はこんな怪物も出てきてるのか。」

目覚めた？

頭の回転が追いついていない。

そんな時、彼が話しかけてきた。

「あつ、どうも。大日本帝国海軍連合艦隊艦長山本五十六つす。つて、なんだ、一博じゃないか。あんたのことなら、石原から聞いてるよ。元気にしてたか？」

「あつ、はい。ところで、死んだはずのあなたがなぜここに？」

「なんか、空から変なのが降ってきて、顔面フリーヒットしてさ。それで、気づいたらこんな姿になってたつうわけなんだ。」

「それは、多分サンドスターのことだと思います。」

「サンドスター？ どういう代物なんだ？」

俺はサンドスターについて詳しく説明した。

サンドスターの影響で、世界で動物がヒト化していることから、サンドスターの影響でヒト型になった動物をフレンズということまで教えた。

「あー、もしかして砂ノ星と獣人のことか？」

「多分、そういうのだと思います。」

「それと、敬語とかマジで堅苦しいからやめてくれ。普通にため口で話してくれ。」

「わかった。ところで、俺の曾祖父はどこにいるんだ。」

「あー、それなら、あんたの後ろにいるよー。」

そう言われて、後ろを見た。

「たつ、食べないでくださーい。」

いつも通りの始まりだ。

確か、ツキノワグマのフレンズとあったときもこんなことをいったな。

「食べないよー！」

2125年4月13日

関東共和国 東京

石原一博視点

俺は寝る前に今日のことをまとめた。

- サンドスターは死人も蘇らせること。
- サンドスターの影響で死人がフレンズ化すると、現代の高校生み
たいになること。
- 今回のことと同じことがドイツでも起こっていること。

第十話 ついてきた。

2125年4月14日

AM3:20

関東共和国 東京

石原莞爾視点

昨日のセルリアンのことも考えるとひ孫のことが気になってしょうがないので、ついてきた。

それにしても、元の性別は男性だったのに、女性になっているというのが気に入らない。

まあ、顔つきは前と似てるからいいけど。

それでもつて、柴犬のフレンズ、クーつて言う名前だったかな？

すごい俺のことを威嚇してるんだが（泣）

グルルル・

腕に噛みつかれた。

「こら、クー！ お座り！」

しかし、俺の手がこの柴犬のフレンズにかみちぎられる前に一博が止めてくれた。

そのあと、一博と目があった。

あ、やべ。

2125年4月14日

関東共和国 東京

石原一博視点

「たっ、食べないでくださいーい!!」

「食べないよー! というか、このやり取りは二回目!」

「てっ、おじいちゃんか。なんかあった?」

「まあ、昨日のセルリアンのこともあったからついてきた。あんたの骨はまだ見たくないから

ね。」

「ははっ、いい冗談だけど、靖国神社で静かに寝ても良かったのに。」

「向こうだと殺ることが少ないから、抜け出してきたんだ。」

「ところで、靖国神社では何をしてるの？」

「えーと、連歌を詠んだり、蹴鞠をしたりしてるよ。」

平安時代の貴族かよ。

「生前は何をしていたの？」

「確か、満州国を作って、そんでもって、最後には丸メガネ（石原莞爾が東條英機のことをよぶときのあだ名）と対立して予備役に追いやられた。」

「関東軍にフレンズはいた？」

「まあ、いたはいたけど、トキのフレンズぐらいだったよ。あいつの音響攻撃はかなりの威力だったよ。」

彼の話をもっと簡単にまとめるとこんなかんじ。

- ・ 関東軍にもフレンズはいた。
- ・ セルリアンは1915年にドイツ帝国が開発した兵器である。
- ・ 1938年の時点で日本は人型のセルリアンの開発に成功していた。

人型セルリアンの開発の途中で、セルリアンのフレンズが誕生した。

- ・ 独ソ戦の時にはドイツ軍が多数のセルリアンを実戦投入した。
- ・ ソ連は1945年の満州侵攻の際にセルリアンを実戦投入した。
- ・ 2003年にはポーランド軍がセルリウム爆弾の開発に成功した。

フレンズ自体は1840年からオーストリアで確認されていた。

- ・ 1945年11月1日から1946年3月1日にかけて行われる予定だった本土決戦にはアメリカ軍、イギリス軍、オーストラリア軍、ニュージールランド軍、カナダ軍だけで50億体もの人型セルリアンを実戦投入する予定だった。

戦時体制　く絶望の時へのカウントダウンく

第十一話　二度目の過ち

2125年4月15日

関東共和国　東京

石原一博視点

プルルルル

午前8時、僕の携帯電話が鳴った。

携帯電話と言っても、僕の携帯電話は21世紀前半まで使われていたガラケーというもので機能は限られている。

といっても、電話とメールさえ使えばいいので、機種変更する気はない。

ちなみに、現在、主流の携帯電話はホログラムウォッチと呼ばれる腕時計型の端末だ。

僕は携帯電話を起動して、メールを見た。

かばんちゃんから届いたみたいだ。

件名：今度、カフェに行こう。

本文：今度、カフェに逝きませんか。

かばんちゃん、字を間違えてるよ。

かばんちゃんは僕の友達でマイペースなところがある。

本名は黒岩優子だ。

僕には他にも友達がいる、キロネックスのフレンズがいる。

キロネックスはオーストラリアの近海に生息する地球上で最も毒性の強いクラゲで刺された人は3分程度で死に至るという危険なクラゲだ。

フレンズになったら、毒の制御は出来るようになったらしいが、見た目は可愛いけどサイコパスなところがある。

というか、毒を持っているフレンズはほとんどサイコパスだけだね。

2125年4月16日

太平洋連邦サバンナ州

カレイサワ行政区内のカフェ

石原一博視点

ここは太平洋連邦サバンナ州ナガヤ小州カレイサワ行政区（行政区は現実の日本の市町に相当する。村は副行政区となっている。）。

夏には避暑地として観光客で賑わう町だ。

さらに、国営のアウトレットもあるため、買い物も楽しめる。

「お待たせー！」

かばんちゃんが来たようだ。

「ところで、そちらの方は？」

「あー、僕の曾祖父の石原莞爾だよ。」

「初めまして。」

俺たちは基本的なあいさつをして、カフェに入った。

「あー→、いらつ←しゃあ→い。ようこそお→、ジャパリカフェへ←。」
（メタい話をしますが、同種のフレンズはアニメ版けものフレンズと
違い複数います。）

かばんちゃんと俺はリンゴジュースを頼んだ。

曾祖父は抹茶を頼んだ。

来るまでの間に少し話をすることにした。

「かばんちゃん、最近何かあった？」

「うーん、子供を保護したことぐらいかな。」

「名前は何にしたの？」

「あー、黒岩優香にしたよ。そういえば、ナカジー（中島健の愛称）は
仕事で何かあったか？」

「あつ、そういえば、詳しい事は言えないんだけど、実は国防上の理由
で津軽共和国へ軍隊が向かうことになったんだ。俺も向かうこと
になるかもしれない。」

かばんちゃんは何かを察したようだ。

「つまり、戦争になるかもしれないということか。」

「そうだ。日本列島全体を巻き込む戦争になるかもしれない。既に陸
海空軍には出動準備命令が出ている。あんたの家の近くの陸軍基地

も騒がしいだろう。絶対にこの事は誰にも言うなよ。」

俺はかばんちゃんにそう伝えると届いたリンゴジュースを一気に飲んだ。

そして、曾祖父の方を見た。

改めて見ると、意外とかっこいい。

なんか、艦これにでも出てきそうだ。

第十二話 緊張

2125年4月17日

太平洋連邦サバンナ州

ジョウエツ陸軍基地

フェネック視点

「ああ、基地にある全ての航空機をいつでも飛べるようにしておいてくれ。あと、基地に最大レベルの警戒警報を発令しろ。」

「了解！」

そういつて、私は兵士を部屋の外に出した。

私は正直言つて、頭が痛い。

なぜかつて？

そりゃあ、戦時中の陸軍の指揮を任されたからさ。

しかも、相手は強大。

へまをすれば、上官にフルボッコにされちゃうし。

そんなことを考えていたとき、突然、兵士が駆け込んできた。

「緊急です！ 津軽共和国軍が東北連邦へ侵攻を開始しました！」

「分かった。とにかく、落ち着け。」

私はそういつて、その兵士に缶コーヒーを手渡した。

「陸軍航空隊を津軽共和国へ向かわせろ。」

「了解。」

そういつて、私は兵士を部屋の外に出した。

2125年4月17日

太平洋連邦サバンナ州

サーバル視点

私はかばんちゃんに頼まれた買い物を終えて、家に帰るところだった。

ビューン!!

F-28が平時ならあり得ないほどの数で飛んでいった。

そんな光景に何か不吉なものを感じたが、気のせいだろう。

多分、陸軍が演習に向かうところなのだろう。

私はそんな風に思った。

しかし、その予想は国防省からのメールで見事に外れた。

件名：政府からの発表

本文：我が国は津軽共和国と戦争状態に突入しました。

国民の皆様は節水及び節電にご協力下さい。

それは、開戦を知らせるメールだった。

というか、早く帰らなくては。

私はそんな事を思い、帰り道を急いだ。

30分後・

私は家に帰ってきた。

「かばんちゃん！」

「どうしたの？」

「ちよつとこのメールを見て！」

私のかばんちゃんにメールを見せた。

「これって、つまり……」

「うん。戦争が始まったということだよ。」

ビューン!!

今度はジェット戦闘機4機が飛んでいった。

ピーピー!

また、私の携帯が鳴った。

件名：空襲警報

本文：空襲警報発令。

太平洋連邦サバナ州ナガヤ小州にお住まいの方は自治体の指示に従い、指定された避難所に避難して下さい。

だとすると、さっきの戦闘機4機は敵を迎撃するために飛んでいったのだろう。

2125年4月17日

太平洋連邦サバナ州ナガヤ小州

カルイサワ行政区上空

アライさん視点

私は敵を迎撃するためにカルイサワ上空まで来た。

「何機目なのだ？ トキ。」

「関係ないわ。今日は敵も見方もエースだらけになりそうよ。」

「前に三機なのだ！ 一機も攻撃させるなのだ！ h e r e w e
g o o !」

私はそういって、敵機に向かっていった。

30分後・

「迎撃完了なのだ！ 基地に戻るのだ！」

戦争の始まり　～それは恨み合い～ 第十三話　海戦

2125年4月18日

日本海　大島沖

太平洋連邦海軍第八艦隊 & a m p 東北連邦海軍日本海艦隊 & アメリカ海軍極東艦隊

シーサーバル・ライト視点

4月18日、太平洋連邦海軍のイージス艦「ヒエイ」「コンゴウ」「ミカサ」の三隻は東北連邦海軍のイージス艦「会津」「福島」「尾瀬」の三隻とアメリカ海軍のイージス艦「ミシシッピ」「アマゾン」「ワシントン」「グランドキャニオン」の四隻と合流し、日本海にいた。

その後、津軽共和国海軍のイージス艦5隻と交戦した。

そして、太平洋連邦海軍のイージス艦「ヒエイ」のCIC（戦闘指揮所）では・・・

「トマホーク発射用意。トラックナンバーヒトマルヒトハチ、撃ち方始め！」

そんな私の言葉と共にトマホーク5発が敵艦隊に向けて飛んでいった。

「トマホークが1発命中。その他は全て迎撃されました。敵艦「津軽」は依然健在。指示を。」

「わかった。大島空軍基地へ連絡。対艦攻撃機の支援を要請しろ。」
「了解。」

3分後・・・

艦隊上空に到達した太平洋連邦空軍の対艦攻撃機3機は津軽共和国海軍に対して、攻撃を開始しようとしていた。

「太平洋連邦海軍のイージス艦「ヒエイ」に告ぐ。これより、津軽共和国海軍に対して、攻撃を開始する。攻撃許可を求む。」

「わかった。兵器の無制限使用を許可する。」

「了解。目標、津軽共和国海軍。ミサイル発射。」

ドーン!!

「敵艦、大破!」

「了解。これより、戦闘を日本国海軍に引き継ぐ。現海域を離脱する。」

これで、太平洋連邦海軍と津軽共和国海軍の間で行われていた佐渡海峡海戦は終結した。

太平洋連邦側の損害は駆逐艦1隻中破。

津軽共和国海軍の損害はイージス艦2隻が轟沈という結果であった。

2125年4月19日

太平洋連邦シナ州

佐渡海峡海戦の戦果はシナ州営放送（CSBC）でも伝えられた。

「こちらはCSBCです。では、昨日に行われた佐渡海峡海戦の戦果を報告いたします。」

佐渡海峡海戦の戦果は太平洋連邦海軍のイージス艦が1隻中破、津軽共和国海軍のイージス艦が2隻轟沈という戦果で、我が軍の圧勝でした。これに対して、太平洋連邦中央政府は以下のような声明を出しました。読み上げます。「我々、太平洋連邦は昔は日本という海軍大国の一部でした。そして、我が国も海軍大国です。今の太平洋連邦海軍の技術力は日本から受け継いだものと言えるでしょう。しかし、今の日本は分断国家です。いつしか、再び結束し、真の皇国となることを願います。」

第十四話 アメリカ

2125年4月23日

アメリカ合衆国 ワシントンD.C.

ジョーン・オリバー視点

俺は仕事が一通り終わったので、コーヒーを飲んでいた。

そんなとき、一人の兵士が駆け込んできた。

「司令官！ 大変です！」

「どうした？」

「ペンタゴンが爆発しました。」

それは、信じられないことであった。

「す、すぐに部隊をワシントンD.C. に向かわせろ！」

「了解！」

2125年4月23日

太平洋連邦サバンナ州

サーバル視点

私はやることが特になかったので、テレビを見ることにした。

因みに私が一番気に入っているチャンネルは太平洋中央放送（P C

T V）で、国営だが、日本のアニメなども放送されている。私が一番

気に入っているアニメは・旭日の艦隊・だ。

しかし、今日のニュースは違った。

私はすぐにかばんちゃんを呼んだ。

「かばんちゃん！」

「どうしたの？」

「アメリカでテロが起きたんだって！」

「たうえ!? 待って、内容は？」

「ペンタゴンという建物が爆発したらしいよ。とにかく、テレビを見

て。」

「こっちで調べられるから大丈夫。」

「そのパソコンは中国製だけど？」

「大丈夫でしょ。」

かばんちゃんはそういつて、パソコンを起動した。

ちなみに、かばんちゃんがもっている・ばつどゆーえすびー・とかいうUSBメモリも中国の通販サイトで買ったものだ。

何故か、中にはarduinoが入っているけどね。(笑い)

たまに、かばんちゃんがそのUSBメモリをパソコンに挿して、キーボードをすごい速さでカチカチしているけど、何をしてるんだろう？

今度、ボス(ラツキービースト)に挿してしらべてみよう。

確か、ラツキービーストにはUSBを挿せるところが1つだけあったような・

私も・ばつどゆーえすびー・を買ってみようかな？

いや、最近は・ばつどえすでいー・とかいうのもあるから、そっちの方がいいかも。

「あつ、これじゃないかな？」

それは、・アメリカ合衆国政府のテロ対応について。・というタイトルのウェブサイトだった。

そこで、調べて分かったことはこんな感じ。

- ・すでにアメリカでは、戒厳令が敷かれていること。
- ・アメリカ軍の主力部隊がワシントンD・C・に配備されていること。
- ・アメリカ合衆国政府は太平洋連邦政府にテロリストの引き渡しを要求していること。

・太平洋連邦政府はテロリストをアメリカ政府に引き渡す方針であること。

・今回のテロの犯人は太平洋連邦の反政府組織である・フアスケスジャパリ・の主力部隊であること。

第一五話 派遣

2125年4月25日

太平洋連邦首都パークセントラル

国防省

アカクラゲ視点

私は必要な書類を書き終えて、コーヒーを飲んでいた。

「失礼します。太平洋連邦陸軍情報指令部所属の遠坂健であります。緊急の報告を致します。本日、国防省長官ジョン・アーサー殿より、太平洋連邦北米方面軍の出動を要請したいとの連絡が入りました。」

「そうか。北米方面軍の出動を許可する。どこに出動するんだ？」

「アメリカ合衆国コロンビア特別区ワシントンD・C.です。」

「そうか。報告ありがとう。」

「失礼しました。」

そういつて、彼は敬礼をして出ていった。

それにしても、シナ州の治安が悪くて困っているのに、今度はアメリカか。

困ったもんだよ。

シナ州はシナ半島（太平洋連邦政府の朝鮮半島の呼び名）に位置する州なのだが、現地の武装勢力・朝鮮独立軍・のおかげで治安が非常に悪い。

そのため、州政府は形骸化し、事実上の中央政府の直轄地だ。

旅行で行く人はまずいない。

いるとすれば、太平洋連邦軍や日本国軍の兵士か物好きだけだ。

あと、戦場カメラマンぐらいかな。

これを受けて、中央政府の方はシナ州を傀儡国家・朝鮮国・として独立させようという話が出てきている。

明日、連邦議会で最終的な判断が出される。

2125年4月25日

ワシントンD・C.

太平洋連邦軍の将校視点

「おいおい。これは何があったんだ？」

「ああ、不審物が爆発して、建物が吹き飛んだらしい。」

アメリカに太平洋連邦軍を置くようになったのは、アメリカ国内でのテロの多発が原因だ。

おかげで、今の・世界の警察・はアメリカではなく、太平洋連邦になっっている。

それにしても、まさか、ホワイトハウスまで吹っ飛ぶとは思わなかったよ。

今までは、映画館や劇場、公民館が狙われていた。

「ところで、貴国で活動しているテロ組織はいくつあるんだ？」

「ワシントンD・C・近郊だけで50ぐらいだ。」

「代表的なテロ組織は？」

「アメリカンIIナシヨナリズムだ。」

「国粹主義か。我が国にもファスケスジャパリと呼ばれるテロ組織があるが、貴国にもあるとは思わなかったな。」

「ああ、ファシスト政党はヨーロッパやアジアでは数カ国が議席を獲得する程度らしいが、アフリカだと活動が活発らしい。既に南アフリカ共和国は独裁制になって、ナミビアなどの隣国を攻撃しているらしい。我が国の軍隊もナミビア救援のために南アフリカ共和国を攻撃しているが、全く歯が立たない。さらに、エジプトやエチオピアも独裁制になり、周辺の国を攻撃している。このままだと、ヨーロッパの国々が攻撃を受けるのも時間の問題だ。現にギリシャもエジプトに侵略された。核を使うことも視野に入れなければならない。」

「ちよつ、ちよつと待つてくれ！ 200年前の悲劇を繰り返すつもりか!？」

「だが、ファシズムがまた台頭したら、また世界大戦が起きる。そんな前にファシズムを潰さなければならない。」

「じゃあ、俺から一言言っておくよ。《核は戦争を早く終わらせることができる。だが、その落とされた国の罪なき国民がたくさん死ぬ。

》 日本のことを忘れるなよ。あんたも1945年8月のことを覚えてるだろう?」

「わかった。」

戦闘

第十六話 ナミビア戦線

2125年4月26日

南アフリカ共和国 ケープタウン

アメリカ陸軍特殊部隊 vs 南アフリカ陸軍特殊部隊

アメリカ陸軍の将校視点

「ちつ、まだ減らないか。」

「はい！ 確認できただけで、かなりの数を倒したものだと思われますが、一向に減りません！」

俺は舌打ちをし、部下に命令を出した。

「インド洋の艦隊に連絡しろ。爆撃機をケープタウンにありつたけ投入しろとな。」

「イエス・サー！」

5分後・・・

爆撃機が400機ほど飛んできた。

ありつたけとは言ったが、まさかこんなに飛んでくるとは思わなかったな。

ちなみに、戦力はこんな感じ。

アメリカ陸軍特殊部隊

砲兵 15人

狙撃兵 13人

工兵 10人

自立思考型自動歩兵《マシンソルジャー》 5台

南アフリカ陸軍特殊部隊

砲兵 16人

狙撃兵 15人

工兵 12人

人型セルリアン 500人

人型セルリアンはアメリカではまだ開発の計画しか立っていない。日本国や太平洋連邦では、残虐であるとして、計画すら立っていない。

それを、アフリカの国が開発していたのか。となると、相当大変な戦いになりそうだ。

ピューーーーーー！！

爆弾が落ちてきた。

しかし、人型セルリアンに全て吸収されただけであつた。

「司令官。爆撃は成功しましたが、効果が有りませんでした。おそらく、前方の人型セルリアンを全滅させる必要があると思われます。」

「そうか。全員、使用する銃弾を貫通弾に変更。人型セルリアンの頭部を狙え。」

「イエス・サー！」

今までの経験から、セルリアンの弱点であるへしは後頭部に有るはずだ。

だとすれば、貫通弾で人型セルリアンの頭部を撃ち、前から後頭部の弱点を攻撃する。

そうすれば、倒せるだろう。

まあ、本当に弱点が後頭部に有るかどうかはわからないが、これに賭けるしかない。

ババババババ！！

攻撃が始まった。

頼む。合つてくれ。

パカーン！

人型セルリアンが一体爆発した。

「司令官殿の賭けは成功したようですね。」

「良かった。このまま、敵部隊を全滅させろ。」

「了解！」

30分後・・・

「人型セルリアンは全滅しました。」

「それは良かった。マシンソルジャー、前へ！ 目標、南アフリカ共和国陸軍。射撃開始！」

ババババババババ！！

30分後・・・

「敵兵、レーダーで探知できず。肉眼でも確認できず。敵部隊は全滅したようです。」

「そうか。次はプレトリアだ。進むぞ。」

「了解！」

この1か月後、プレトリアにアメリカ軍が入城したことで、南アフリカ共和国は降伏を宣言し、ナミビア戦線はアメリカ軍の勝利で終わった。

第十七話 エジプト戦線

2125年4月27日

エジプト

オスマン第二帝国陸軍 vs エジプト陸軍

オスマン第二帝国陸軍の将校視点

ババババババ!!

銃撃戦が始まった。

ここは、エジプト戦線。

ここを突破したら、そのまま南下し、エチオピアを攻撃。その後、北上してきたアメリカ軍と合流し、共同戦線を張るといふ流れだ。

ちなみに、エチオピアを攻撃する際にはエチオピア占領下のソマリアに上陸した日本国陸軍と共同戦線を張ることになる。

ちなみに、戦力はこんな感じ。

オスマン第二帝国陸軍

歩兵 80万人

戦車 500両

航空機 10機

エジプト陸軍

歩兵 50万人

戦車 500両

航空機 12機

自動戦闘車両 500両

戦力差としては、こちら側が負けているのか。

だが、こちら側には太平洋連邦やアメリカ合衆国からレンドリースされた最新式の兵器がある。

ここで負けるわけにはいかない!

「全員、発砲用意! 目標、エジプト陸軍。撃てっ!」

バババババババババ!

3時間後

「敵兵、レーダーで探知出来ず。肉眼でも確認出来ず。エジプト陸軍は全滅したようです。」

「そうか。では、南に向かい、エチオピアを攻撃する。次の目標はスーダンだ。」

「了解！」

この1年後に、スーダン共和国は降伏を宣言。続いて、3カ月後にエチオピアも降伏し、アフリカ戦争は終結した。

この戦争の講和会議は日本国の首都である札幌で開かれ、エジプトは全土、オスマン第二帝国領に編入された。

エチオピアについては、南部をソマリア、北部をエリトリアに分割されることとなった。この分割は民族事情を無視したものであったため、15年後に独立戦争に発展することとなる。

最後に南アフリカについて。

南アフリカ共和国は30年間、イギリスの占領下に入ることとなった。

以上のような結果でアフリカ戦争の講和条約・札幌条約・は締結された。

この後はしばらく、日米英土の連合軍が治安維持のため、アフリカに駐留することとなる。

しかし、一部の国粋主義者により、日本国陸軍の基地などにテロ攻撃が頻繁に起きることとなり、最終的には、第二次アフリカ戦争に発展することとなり、また死者が増える事となるのであった。

かばんちゃん：いや、何勝手に終わらせてるの!? まだ、終わらないよ!!

作者：なんか、疲れたから、終わりにしようと思ってたのに!!

かばんちゃん：いやいや、津軽戦線はどうするの!?

作者：あつ、忘れてた。

かばんちゃん：ひどいよー。

キロネックス：次回、第十八話・津軽戦線。おそろく、投稿が遅れるかもしれませんが、お楽しみに！ 作者さん。ちゃんと作って

ね。

作者：イエ、イエス・サ！

第十八話 津軽戦線

2126年1月6日

日本国 札幌

日本国海軍の兵士視点

俺たちは津軽侵攻のための作戦を考えていた。

「陸奥湾は鎖によって封鎖されている。どうする。」

「鎖を艦砲射撃で破壊出来ないのですか？」

「いや、かなり硬いから無理だ。」

そんな話し合いをしているとき、一人の男性が立ち上がった。

「でしたら、オスマンがコンスタンティノープルを占領した時のように、艦隊を山越えさせるといえるのはどうでしょうか？」

彼は天野武志。

元は日本国陸軍の将校だったが、その頃は・現代のジャックIIチャール・と呼ばれるほどヤバい人だったらしい。

例えば、元寇の時のモンゴル軍の武器を使って戦ったりだとか。

その後、日本国海軍への転属が決まって、今はこんな感じで一昔前の方法を提案する。

まあ、全部成功してるから、文句はないけどね。

「いい意見だ。それなら、どちら側から越えるんだ？」

「津軽半島を越え、陸奥湾に侵入し、津軽共和国の首都である青森市に上陸します。」

「そうか。それなら、津軽共和国は首都を南の方に移すだろうから、関東共和国軍と協力して、津軽共和国占領下の東北連邦に侵攻。その後、太平洋連邦軍は南部から一気に北上し、津軽共和国を降伏させよう。」

「この意見に反対の人はいますか？ いまませんね。では、この作戦を承認します。次に作戦に参加する部隊についてです。この作戦では、第一軍は南部国境の防衛、第二軍は艦隊を山越えさせた後に、青森市へ上陸し、占領第三軍は津軽半島への上陸を行い、道を確保するとう感じだ。次に海軍についてだが、この作戦では第一艦隊が参加す

る。」

「これに反対の人はいますか？ いませんね。では、部隊編成を承認します。直ちに必要な部隊を編成し、作戦を開始してください。」

「了解！」

無事に会議は終了した。

この作戦の名前は作戦の元ネタから取り、コンスタンティ作戦と呼ばれることとなった。

「それにしても、あの方はぶっ飛んだ提案ばかりしますね。」

「まあ、作戦のほとんどが成功しているから良いじゃないか。あつ、コーヒー飲むか？」

そういつて、彼は缶コーヒーを渡してきた。

「お言葉に甘えて一つ頂きます。」

俺は、彼から、缶コーヒーをもらい、一気に飲んだ。

確かに、彼のぶっ飛んだ提案はすべて成功している。

まあ、軍隊には一人ぐらいはこういう人は必要かな。

そういえば、サーバルは何をやっているのだろうか？

彼女は確か、第二次朝鮮戦争の時に釜山上陸部隊に配属されて、戦後は軍隊を抜けて、今はかばんちゃんという人と同居しているといっていたかな。

史上最大の作戦　　～歴史は繰り返す～ 第十九話　作戦

2126年1月11日

日本海

青森県沖

太平洋連邦海軍上陸部隊

シーサーバルIIライト視点

「上陸部隊の援護を行う。全艦艇に告ぐ。JP23サーモバリックの使用を許可する。津軽半島への空爆を開始せよ。」

そんな私の指示と同時に太平洋連邦海軍の空母「信長」「不動明王」「日本武尊」「神武」「月光」から爆撃機B-632が飛び立っていった。

B-632の正式名称はB-632コーカサスでオスマン第二帝国空軍が開発した戦闘機で、マツハ26ぐらいのスピードを出せる。

五所川原市上空・

太平洋連邦海軍航空隊のパイロット視点

「JP23サーモバリック投下用意。第一投下口開け。」

「爆撃30秒前……10、最終安全装置解除。……3、第二起爆装置解除。」

……0、投下！」

ドカーン!!

大きなキノコ雲が見えた。

「爆撃は成功した。札幌に帰還するぞ。」

「了解！」

ここを、軍艦が通過するわけだけど、全くぶっ飛んだ作戦だよ。

場所は戻り、日本海。

日本海では、私の乗っている艦を含め、ミサイル巡洋艦が20隻、空母が18隻、駆逐艦が80隻、後方に原子力潜水艦が1隻、普通の潜水艦が8隻、空は、戦闘機8000機、対潜哨戒機P-25が16機、電子戦機が6機という大艦隊だ。

さらに、上陸部隊は歩兵が50万人、戦車が80万台、歩行型戦闘ロボット・ゾイド・が25万台という大規模な上陸作戦となっている。

ゾイドは非常に高度なAIを搭載した戦闘用ロボットで、敵の行動パターンなどのデータを元に瞬時に状況を判断し、効率的な戦い方をするというものだ。

さらに、砲弾などの軌道予測を瞬時にすることもできる。

また、翔べるタイプもあるため、空軍にも配備されている。

「第二段階、ブラボー作戦（艦隊の山越え）を開始します。」

「よし、では、全艦艇に告ぐ。第二段階のブラボー作戦に移行する。全員、津軽半島へ進路を採れ。」

「了解！」

これにより、後に、

- ・第二のオスマン
- ・と呼ばれた作戦が始まった。

この作戦はオスマンによるコンスタンティノープル攻略の際の作戦を真似たもので、

- ・現代のジャックIIチャーチル
- ・が提案した作戦だ。

この作戦はコンスタンティ作戦と呼ばれていて、アルファ作戦、ブラボー作戦、チャーリー作戦、デルタ作戦に分かれていて、アルファ作戦では、津軽半島への上陸で、これは、津軽半島を通るブラボー作戦のための道を確保するためのものである。

ブラボー作戦では、占領済みの津軽半島を軍艦で越え、陸奥湾に侵入。チャーリー作戦では、青森市に上陸し、占領する。デルタ作戦では、関東共和国軍の支援を受け、一気に越境。東北連邦を解放したのちに、津軽共和国へ進軍し、降伏させるというものだ。

第二十話 陸奥湾

2126年1月30日

陸奥湾

日本国海軍 & a m p ; 太平洋連邦海軍 v s 津軽共和国海軍
シーサーバルライト視点

私たちは津軽半島を越え、陸奥湾に侵入し、青森市から5キロメートルの地点で津軽共和国海軍と衝突した。

戦力はこんな感じ。

太平洋連邦海軍

駆逐艦 800隻

ミサイル巡洋艦 17隻

空母 20隻

潜水艦 8隻

空母 20000隻

日本国海軍

駆逐艦 900隻

ミサイル巡洋艦 26隻

空母 25隻

潜水艦 17隻

戦闘機 25000機

太平洋連邦陸軍（上陸部隊）

戦車 800台

対空砲 800台

歩兵 160000人

無人攻撃機 900機

津軽共和国海軍

駆逐艦 700隻

ミサイル巡洋艦 17隻

空母 8隻

戦闘機 8000機

戦力はこちらの方が勝っているようだ。

「全艦、シースパーク発射用意。目標、津軽共和国海軍。撃てっ！」

ドカーン!!

「敵駆逐艦が3隻轟沈。」

ドーン!!

「なんだ!？」

「この艦に敵の砲弾が命中！」

「ダメージコントロール!!」

「対艦攻撃ドローンを発進させろ。」

「了解！」

それと同時に爆弾を積んだドローンが500機ほど飛び立った。

ドーン!!

「敵巡洋艦、5隻轟沈。」

5時間後・・・

「敵艦隊は全滅しました。」

「そうか。上陸部隊を青森市まで運ぶぞ。面舵いっぱい。よーそろー。」

この20分後、無事に太平洋連邦陸軍は上陸に成功した。

2126年1月31日

津軽共和国 青森市街

太平洋連邦陸軍 v s 津軽共和国陸軍青森守備隊

シーサーバル||ライト視点

日にちが変わって、2126年1月31日午前5時10分。

我々は津軽共和国陸軍の青森守備隊と交戦した。

戦力はこんな感じ。

太平洋連邦陸軍

戦車 800台

対空砲 800台

歩兵 16000人

無人攻撃機 900機

津軽共和国陸軍

戦車 250台

対空砲 500台

歩兵 200人

敵の戦力は少なめだ。

だが、すぐに敵の増援が来るだろう。

早めに倒しておこう。

「戦車部隊、砲撃用意。目標、津軽共和国陸軍青森守備隊。撃てっ!!」

ドカーン!!

2時間後・・・

「敵部隊は全滅したようです。」

「そうか。では、最後の作戦であるデルタ作戦に移行する。太平洋連邦陸軍南部国境方面隊に連絡。越境し、東北連邦を解放せよ。」

「了解! 太平洋連邦陸軍南部国境方面隊に連絡。侵攻を開始せよ。」

「了解!」

そのころ、太平洋連邦サバンナ州では・・・

かばんちゃん視点

僕はテレビで放送されている戦時放送を見ていた。

「こちらは、太平洋連邦国営放送です。先ほど起きた青森攻防戦の結果をお知らせいたします。青森攻防戦は我が方の勝利でした。・・・」

「かばんちゃん!」

サーバルが来たようだ。

「あつ、サーバルちゃん。どうしたの?」

「そろそろお昼ご飯の時間だよ。」

「じゃあ、シヤケのおにぎりでも作るか。」

僕はそういつて、台所に行った。

「そういえば、サーバルちゃん。スペインの話つてもう聞いた?」

「えっ?」

「第二次スペイン内戦の話だよ。」

「あー、確か、3つに分裂するかもしれないということでしょう?」

「うん。僕の友人は軍人なんだけど、その人から、マドリードで市民

が暴動を起こし、多数の死者が出ている。・という話を聞いたんだ。」
「つまり・・・」
「うん。もうすぐ、スペインで内戦が起きるといことだよ。」

欧州情勢は複雑怪奇なり

第二十一話 第二次スペイン内戦

2126年2月1日

太平洋連邦 キョウシユウ州

フェネック視点

私は、陸奥湾海戦の報告書を書き終え、一息つこうとコーヒーを飲んでいました。

といつても、コンビニに売っているような缶コーヒーだが。

そんな時、一人の兵士が私の部屋に駆け込んできた。

「しっ、失礼します！ 緊急の報告です！」

「なんだ？」

「すつ、スペインで軍隊が蜂起を起こし、内戦が始まりました！」

「何だと!! すぐに太平洋連邦欧州軍に出動命令を出せ！」

「了解！」

私は部屋の外に兵士を出した。

いつかは起きるとは考えていたが、これほど早いとは思っても居なかった。

話を簡単にまとめると、こんな感じ。

- ・スペインは国王を廃位させる共和派、労働者による統治を目指す労働者保護政府、絶対王政を目指すスペイン国王政府、ファシズムを目指す国家結束軍、立憲君主制を目指す国王民主派、ジブラルタル海峡の奪還を目指すスペイン軍政府の6つに分裂している。

- ・スペイン国内に多数の民間人が取り残されているため、太平洋連邦欧州軍を向かわせる必要がある。

- ・我々の任務はあくまでも、民間人の保護であって、戦闘ではないこと。

- ・戦闘はドイツ帝国と大オーストリア合衆国の軍隊に任せること。
- ・アメリカやイギリスはこの内戦に不干渉であること。
- ・日本国軍はスペインとフランスの国境地帯を守るために出動し

たこと。

- ・太平洋連邦軍が欧州全域に配備されたこと。
- ・スペインとフランスの国境地帯では、避難指示が出ていること。
- ・反乱軍の一部がポルトガルを攻撃していること。
- ・ポルトガル国民の保護も必要であること。
- ・ジブラルタル海峡は日本国海軍によって封鎖されていて、漁船などの民間の船舶は通れないこと。そのため、地中海にしか接していない国は民間の船舶が大西洋に出るには、スエズ運河から南アフリカ経由で、大西洋に出る必要があること。

- ・さすがに最低限の戦闘は許されていること。

- ・輸送機がすべて、何世代も前のものであること。

- ・オスマン第二帝国陸軍はすでに救助活動を開始したこと。

さらに、アメリカやイギリスといった国々でも、反乱が起きそうになっっているらしい。

いまや、大国であるアメリカやイギリスでも、世界をコントロール出来なくなっている。

下手したら、第三次世界大戦が起きる可能性だってある。

我々も慎重に行動しなければ。

私はそんな事を思いながら、部屋から出た。

「気晴らしに売店にでも行こうかな。」

私は売店に行くことにした。

「いらっしやいませ。」

売店の店員であるコウテイペンギンさんが迎えてくれた。

私は缶コーヒーを2本とガムを3個をもってレジで会計をした。

「全部で240円です。」

「これですね。」

「ありがとうございます。」

予想外のこと

第二十二話 デルタ作戦

2126年2月10日

津軽共和国占領下 会津若松市

太平洋連邦陸軍主力部隊 v s 津軽共和国陸軍主力部隊

ジャガー視点

2126年2月10日、私たちは、デルタ作戦を実行に移し、太平洋連邦領から一気に北上。

東北連邦を解放するため、福島県に進軍し、会津若松市で津軽共和国陸軍主力部隊と交戦した。

戦力はこんな感じ。

太平洋連邦陸軍主力部隊

20式戦車 200台

24式戦車 80台

歩兵 80万人

歩兵の装備

24式小銃

21式ロケットランチャー

18式小銃

26式手榴弾

太平洋連邦空軍（支援）

第15世代型ジェット戦闘機 YF | 253 500機

第17世代型ジェット戦闘機 F | 563 240機

津軽共和国陸軍主力部隊

19式戦車 800台

26式戦車 700台

歩兵 50万人

戦力としてはこちら側が圧倒的に有利だが、戦争は何が起きるかわからない。

「戦車部隊、砲撃用意！ 目標、津軽共和国陸軍主力部隊。撃て!!」
ドカーン!!

「続けて撃て。」

3時間後……

「津軽共和国陸軍主力部隊は全滅しました。」

「そうか。では、奥に行くぞ。」

「了解!」

私たちは、さらに奥に進んでいった。

この2日後、東北連邦の首都である新潟市が陥落し、東北連邦の解放に成功した。

この後に、津軽共和国は首都を横手に移すこととなる。

2126年2月12日

太平洋連邦キョウシュウ州

セーバル視点

私は会津若松攻防戦の報告書を書き終え、缶コーヒーを飲んでいった。

そんな時、一人の兵士が私の部屋に駆け込んできた。

「大変です!」

「どうした?」

「秋山宏率いる津軽共和国陸軍武装警察隊が蜂起を起こし、政府を転覆させました!」

「んっ? じゃあ、津軽共和国はどうなったの?」

「秋山宏率いる新政権により、降伏を宣言しました。」

「だが、彼らが蜂起を起こした理由は何なんだ?」

「分かりません。」

「そうか。報告ありがとう。あと、これを持っていけ。」

私は彼に缶コーヒーを手渡した。

「ありがとうございます。失礼しました。」

そうやって、彼は私の部屋から出ていった。

この後の講和会議は大阪で開かれ、以下のようなことが決められた。

- 津軽半島の日本国への割譲。
- 津軽共和国の山形と宮城の領有権の主張の取り下げ
- 東北連邦の独立の承認
- シビリアンコントロールの徹底

この講和条約・大阪条約・は、他国（主にアメリカ）から甘いと言われたが、太平洋連邦国内で、厭戦気分が高まっていたため、このような結果となった。

この一連の戦争は東北戦争と呼ばれることとなった。

東北戦争の終結の影響は欧州にも及んだ。

まず、スペインでは、津軽共和国の支援を受けていた絶対王政派が降伏。

厭戦気分の高まりにより、内戦が終結した。

これから先、日本列島の国々や世界は、平和への道を行んでいくだろう。

第二十三話 統一

2150年7月10日

太平洋連邦サバンナ州

かばんちゃん視点

私は仕事が終わったので、新聞を読んでいた。

・列島統一条約調印終る 友好の握手は実に堅し・

本日未明、太平洋連邦、津軽共和国、関東共和国、東北連邦、日本の5カ国は3年後の統一を目指し、列島統一条約に調印した。

これを受け、太平洋連邦政府は統一した後の朝鮮半島の立場について、会議を明日開く予定である。

・国防公安庁がファスセスジャパリのメンバー15人に死刑判決

昨日、国防公安庁最高裁判所はファスセスジャパリのメンバー15人に対し、反逆共謀罪を適用し、死刑判決を言い渡した。

この国が建国されてから50年、やっと統一出来るのだ。

そんな時、同僚が話しかけてきた。

「なあ、列島統一条約の話は聞いたか？」

「あー、あれか。それなら、この新聞にも載ってるよ。統一するのはいいんだけど、首都はどうなるのかねえ？」

「昔みたいに東京になるんじゃないかな？」

「東京か。そういえば、動画投稿サイト・movie communityでは、首都は京都になるのではという話もあったよ。」

「movie communityか。俺もよく見てるサイトだよ。たしか、アメリカの企業のサイトなんだろ。」

「うん。あつ、休憩時間が終わったみたいだね。じゃあ、また後で。」

私はそういって、オフィスに戻った。

数人が一緒に振り返った。

「あつ、君。ちよつと、これの案を来週までに考えてきてくれないか？」

（ちよつと、ここには何人の黒岩さんがいると思ってるのお？ エリ

ジヨナファル。35人。頼むから、しーんとならないでくれ。」
「おつ、今度はRPGですか。分かりました。」

渡された書類のタイトルはRPGゲーム・ドラゴンストーリー
2についてと書かれていて、内容はこんな感じ。

ゲーム名：ドラゴンストーリー2

対応機種：パソコン、ホログラムウォッチ

対象年齢：15歳ぐらい

使用言語：C++、アセンブラ言語

備考：舞台はビクトリア朝時代のイギリス。主人公は男性。少なくとも、スライムとドラゴンを出すこと。流血表現は出さないこと。

うーん。まずはソースコードを書きながら考えていくか。

私は自分の席に座り、パソコンで開発ツールを開いた。

「主人公の名前はアスク。1875年1月3日生まれ。現在はイギリス軍に所属している。」

「始まりの街の名前はグラビティータウン。設定は怪奇現象が多発する街。」

「しかし、グラビティータウンがドラゴン・デスファイアの攻撃を受け、壊滅する。そこで、彼はイギリス軍を率いて、ドラゴン退治に向かうこととなる。」

「しかし、船旅の途中で大嵐に遭い、イギリス陸軍第六師団は離ればなれになってしまう。」

「彼は流れ着いた島で、イギリス陸軍第六師団の兵士を一人だけ見つけ、一緒に旅をすることとなる。」

3時間後

「じゃあ、このコードをコンパイルして、exeファイルを作つてとよし、終わった。」

私は完成品をUSBメモリーに入れ、上司の所に持っていった。
「すいません。こんな感じですか?」

「おつ、もう完成したのか? どれどれ?」

私はUSBメモリーを上司に渡した。

「うーん、タイトル画面はもうちよつと派手でも良くない? もう

ちよつと、ドーンとき。内容は面白いんだけどね。タイトル画面だけ
変えてきてよ。」
「分かりました。」

第二十四話 サーバル

2150年7月13日

太平洋連邦サバンナ州

サーバル視点

かばんちゃんは大企業に就職し、アメリカの某IT企業の創始者並みに成功していて、どんどん昇進している。表彰だってされてる。

それに対して、私は

「ちよつと！ それはこつちだよ！」

「あつ、すみません！」

近所の雑貨屋でバイトをしているんだ。

昨日、パソコンを買ったんだけど、骨董品のお店で3000円程度で売られていた1990年代のジャンク品のデスクトップパソコンだったよ。

OSはSTARBUSSH95というすごい古いやつだったから、サポートはとづくに終了していたよ。

しかも、マルウェアやらが10個くらい入ってたし。

だから、今開発されてるSTARBUSSH150にアップデートしようとしてるんだけどメモリが足りない。

STARBUSSHじゃなくてテキスト入力形式のOSであるWRITELINEの最新バージョンを使うのもありかも。

2時間後

「よし、今日の仕事は終わりだ。」

私は家に帰り、パソコンを起動した。

「たしか、WRITELINEの最新バージョンはアメリカのサイトで無料でダウンロードできるはずだけど、これか。じゃあ、ダウンロードするか。」

```
W L | v e r 2 . 6 . 5 | i n s t a l l e r . i s o d  
o w n l o a d e d .
```

これをCDに入れて、パソコンにセットするのか。

20分後

インストーラーが起動したようだ。

▪ Welcome to WRTITLE ver. 2.6.

5 installer ▪

保存場所は ▪

▪ C:\system32\OS\empty ▪

▪ password and your name, please

e. ▪

パスワードは ▪

▪ PASS : ah6 (465141&l4+ho? ▪

名前は ▪

▪ NAME : MINMI ▪

▪ installer? ▪

▪ OK. Start installing. ▪

インストールが始まったようだ。

30分後 ▪

▪ installer completed. Do you wan

t to additional software? ▪

何かソフトウェアを追加できるみたいだ。

▪ yes ▪ と。

▪ Choose from here. ▪

▪ malware eraser

▪ network explorer

▪ software maker

▪ system booster

1つ目がセキュリティソフト。

2つ目がブラウザ。

3つ目が開発ツール。

4つ目は ▪ わっかんないや! ▪

でも、一つ目と二つ目は欲しいかな。

3分後 ▪

▪ completed. ▪

終わったみたいだ。

デスクトップを開いたのはいいけど、なんか、コマンドラインが表示されたんだけどどうすればいいんだ？

まずはこのコマンドを打つか。

```
▪ cd C : ▪ W R I T E L I N E ▪ s y s t e m d a t a ▪ d e  
v i c e | d r i v e r ▪ U S B ▪
```

なんか、色々表示されたけど分からん。全然分からん。